

# 秋田大学市民講演会

～ これから科学者を目指す君たちへ ～

日本の生命科学分野を代表する第一線の著名な研究者の先生方から、これから科学者を目指す皆様方へ、熱きメッセージを送っていただきます。皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

【主催】秋田大学地方創生センター

【後援】秋田大学高大接続センター

【日時】平成30年9月1日(土)13:30～15:30

【会場】秋田県総合保健センター2階 大会議室

秋田市千秋久保田町6番6号 秋田駅より徒歩5分

【対象】どなたでも(入場無料)【定員】300名(要事前申込)

## 講演者

吉田 賢右 博士

東京工業大学名誉教授、  
京都産業大学シニアリサーチフェロー

永田 和宏 博士

京都大学名誉教授、京都産業大学教授  
タンパク質動態研究所 所長

田中 啓二 博士

東京都医学総合研究所 理事長

大隅 良典 博士(講演予定:ご本人の都合により中止の可能性もあります)

東京大学特別栄誉教授、東京工業大学科学技術創成研究院特任教授・栄誉教授  
2016年 ノーベル生理学・医学賞受賞

【申込方法】以下の内容をメールでお知らせください。

①氏名 ②住所 ③電話番号

※定員に達し次第締切といたします。

※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用願います。



このQRコードを読み取ると  
メールを簡単に作成できます。

**申込締切日：8月24日(金)**

【申込み・お問い合わせ】

秋田大学地方創生・研究推進課

E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp FAX: 018-889-3162



# 講師紹介



## 吉田 賢右 博士

ミトコンドリアATP合成酵素のサブユニット構成比を世界で初めて確定した。この研究成果が決め手となり、同年、ポイヤールとウォーカーは回転触媒説などアデノシン三リン酸合成反応の研究によりノーベル化学賞を受賞することになった。



## 永田 和宏 博士

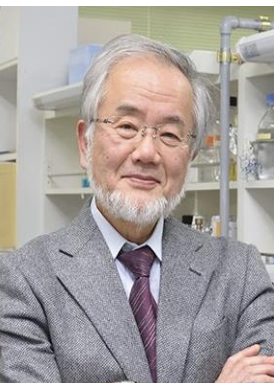
変性タンパク質を見つけて分解経路にまわすEDEM1，変性タンパク質のジスルフィド結合を還元して，小胞体からサイトゾルへ逆輸送しやすくする還元酵素ERdj5の発見者。

2008年 秋田大学工学資源学部生命化学科客員教授（基礎生命化学講座 分子生物学分野）  
歌人。宮内庁歌会始選者，朝日歌壇選者。2009年 紫綬褒章受章。



## 田中 啓二 博士

タンパク質分解装置であるプロテアソームの発見者。そのパートナーであるユビキチン（分解シグナルとして働く翻訳後修飾分子）の動態と作動機構について，分子から個体レベルまで多面的に研究を進めている。



## 大隅 良典 博士

2016年10月3日、「飢餓状態に陥った細胞が自らのタンパク質を食べて栄養源にする自食作用『オートファジー』の仕組みを解明した」卓越した成果が認められ、ノーベル生理学・医学賞を単独受賞。